

様式1 役割分担・方向性を定めた事業

平成 18 年 2 月 自主・自立推進プラン実施状況確認シート

分野・分類	広域連携	担当部門	芽室消防署 庶務課
事業名	消防業務		

1. 自主・自立推進プランにおける検討結果

住民地域	役割分担				方向性				実施年度						
	各種団体	企業	行政	広域	廃止	縮小	拡充	継続	~16	17	18	19	20	21	22~
内容	十勝町村会でも検討中の事業です。事務・管理部門を十勝1本部に集約して一元化を図ることを目標とします。人事面、給与体系など各市町村の体系から独立し、各ブロック毎に独立して一元化を図らなければ、広域の人事交流をすることはできません。また火災、救急等の現場対応は、地元で密着している必要があることから、今までどおり各ブロックごと(芽室町は西十勝消防組合)の連携を保ちつつ、地元消防団を含めた連携強化を図る方向で進めていきます。														

2. 平成 18 年 2 月 現在の実施状況

( から のうち、該当する項目に 印をつけてください。)

実施済	実施に向けて検討中	未検討	変更予定

\* は、役割分担・方向性・実施年度の何れかについて、プランの検討結果から変更する予定の場合です。

3. 平成17年度に実施した内容と課題 (予定どおり実施できなかった場合はその理由)

<p>1 デジタル消防救急無線の共同化・広域化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の支援制度の制限(平成23年5月31日)までに、できるだけ早く共同整備する。</li> <li>十勝圏を1域で整備するか、何ブロックかにするか、枠組や導入方策などをはじめ、技術面、財政面等の検討の必要があります。</li> </ul> <p>2 通信体制の共同化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防指令業務を広域・共同で行うことにより、従来から提供してきた消防サービスを上回る高度で効率的なサービスの提供が可能となるとともに、整備・運用にかかるコストも大幅に削減できる有効性が認められる。</li> <li>消防救急無線のデジタル化移行期限に向けたスケジュールを見据えて、同じ消防本部などを中心としたプロジェクトチームで方策及び課題を検討し、これを具体化していく必要があります。</li> </ul> <p>3 消防本部の広域編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の複雑多様化する災害や予防、救急業務に対する住民ニーズの高度化に対応した、より高い水準の消防サービスを住民に提供することができるようになるほか財政上では業務の効率化、消防施設・設備の計画的な整備の推進、重複投資の回避等により、少ない経費で高い水準の消防サービスが可能になり、人員配置・人件費等町村負担は軽減されますが、これらは、各本部の現行業務を摺りあわせていない試算にとどまっていることや、署所も含めた再編合理化の検証は、単なる数合わせになりかねず、消防力や住民サービスの低下への波及を懸念して手をつけていないことなどの課題を残しています。</li> <li>消防本部の広域編成は、消防救急無線広域化・共同化、通信指令業務の共同運用とともに枠組は同一が望ましいという見地から、一体化した取り組みが求められ、これらの業務と同様の組織で検討を継続することが必要となります。まずは、自賄い方式の解消をはじめ、新たな課題の洗い出しと検討を重ね、すべての市町村が相互利益の理念に基づいて議論を深めることが大切です。</li> </ul>
---

4. 今後の方針(関係者協議等)

<p>1 消防救急無線広域化・共同化</p> <p>消防救急デジタル化の移行と国の支援制度の期限までに十勝管内において共同整備するため、協議機関を設けて推進する。</p> <p>2 消防指令業務の共同化運用</p> <p>消防救急無線広域化・共同化に合わせた共同運用について協議機関で検討し、別途管内市町村で取扱を協議する。</p> <p>3 消防本部の広域再編</p> <p>協議機関で検討し、別途管内市町村で取扱を協議する。</p> <p>4 3項目をとおして</p> <p>協議にあたっては、北海道(十勝支庁)に協力要請する。</p>
--